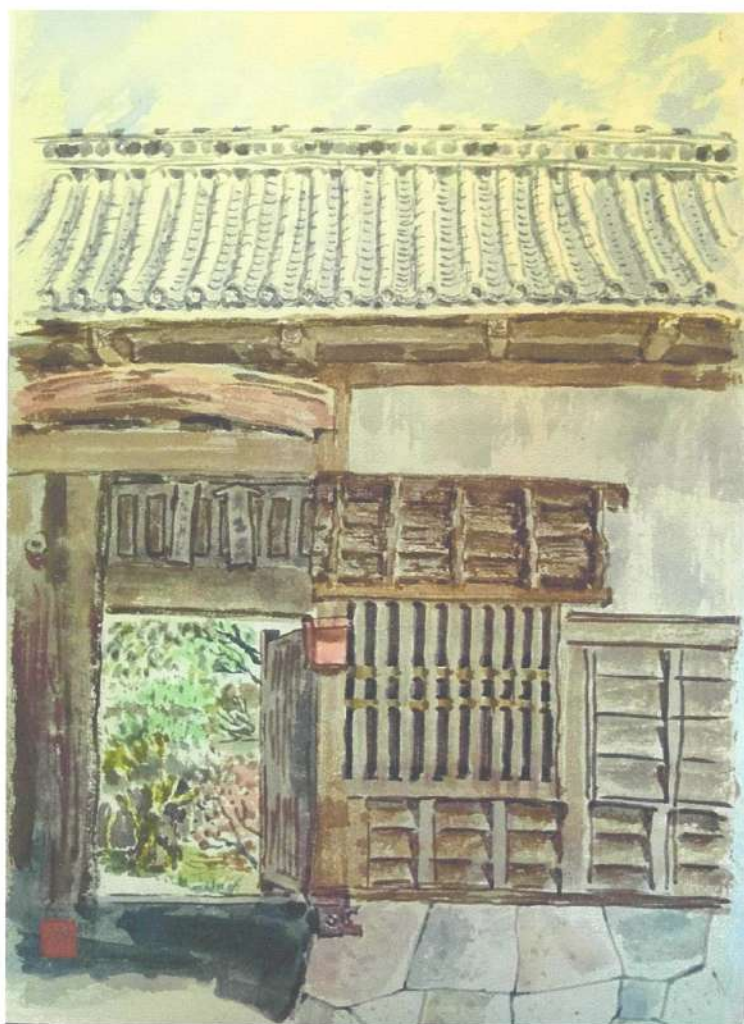


岩国地方史研究

2026年 6月



第37号

岩国地方史研究会

『岩国地方史研究』 37号目次

(小 論)

岩國藩御用絵師狩野派佐藤永玄とその家系	藤重 豊	1
藤岡市助と電気鉄道 (8/10)	下麥 誠一郎	8
万歳考	宮田 伊津美	17
山代の近代史 『岡田豊蔵日記』に見る西黒沢村の近代		
第二章 教師として生きる岡田豊蔵		
＝その研修について＝	俵 康恵	20

(寄稿)

岩国に還る宇野千代	田中 昭江	24
-----------	-------	----

(随想)

四国霊場八十八か所巡り (パート7, 8)	笠井 文雄	31
高齢者移住報告4	酒井 俊夫	35

(会員の広場)

心に残る恩師	佐倉 弘之甫	37
松江(出雲国)への旅	高橋 道子	39
健康は牛乳配達から	栗飯原 煦	42
還暦を迎えて	内野 寛伸	43

(歌壇／俳壇)

平家砦	岡田 公代	45
ルーージュ/田口満江 黄砂/藤重豊 人生/石兼弘昭 初夏/松籠俊雄		

(その他)

漫画 なっちゃんものがたり	おか なつ	46
令和7年度活動報告と令和8年度活動計画(案)		47
令和7年度決算書と令和8年度予算書案、補足説明書		48
会則		51
入会案内(入会申込書・退会届書)		53
編集後記		

＝表紙の水彩画＝ 香川家長屋門 当会会員の新庄憲彦さんの作品。

吉川氏の五家老のひとつ香川家の長屋門で、元禄6年(1693年)に香川正恒によって建立される。錦帯橋を横山に渡り、吉川氏の居館のある御土居に至る途中の要所に建つ。設計・建設は、元禄の錦帯橋の架け替えの棟梁を務めた大工の大屋嘉左衛門の手によるものとされ、威風堂々とした門構えは330年余りの風雪を経ても揺るぎはない。

江戸時代の武家屋敷の風情を今に伝える貴重な遺構として、昭和41年(1966年)山口県の文化財に指定されている。

岩国地方史研究

37号

令和8年（2026）6月20日発行

編集・発行

岩国地方史研究会

会長 藤重 豊